

質 問 順 位	4	質 問 者	窪之内 美知代 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 高齢者対策	1. 孤独死対策について	1. 孤独死とは、主に一人暮らしの人が誰にも看取られることなく、当人の住居内で生活中的突発的な疾病等によって死亡する事といわれています。少子高齢化や核家族化といった生活状況を考えると、孤独死が発生するリスクは大きいと言えます。今回は、孤独死をゼロに近づけるための質問です。第一に、本市において過去5年間に孤独死と判断されるケースの件数及びその要因について伺います。		
		2. 次に、見晴団地と駅前団地の入居者を除く単身高齢者世帯のうち、緊急通報装置サービス、友愛訪問サービス、配食サービス、通信端末による見守りサービスといった安否確認サービスを全く受けていない人数及びその方達への安否確認については、どのような対策を考えているのか伺います。		
		3. 孤独死をなくすためには、安否確認だけではなく、日頃からの健康維持促進の取り組みも欠かせません。第5期滝川市高齢者保健福祉計画では、地域社会の中で高齢者の生活を支えていくための「共助」の仕組みの構築と、保健・福祉・医療の連携、民生委員・児童委員・町内会・老人クラブなど様々な組織が高齢者を見守り、支援していける環境づくりとネットワークの充実に努めるとあります。そこで、その実現のために何に重点をおいた取り組みを展開しているのか伺います。		

質 問 順 位	4	質 問 者	窪之内 美知代 議員
件 名	項 目	要 旨	メ モ
	2. デイサービスセンター宿泊事業について	1. デイサービスセンター事業では、利用定員により職員の配置基準が決められています。しかし、ここでの宿泊事業についての基準はありません。今、全国的に通所施設で宿泊する高齢者がいることが明らかになってきています。そこで、市内に設置されているデイサービスセンターでの宿泊事業の実態は、どのようになっているのか伺います。	
		2. この事業は介護保険対象外であり、民間事業者の自主事業であるとして、北海道は独自基準の設定について消極的なようです。しかし、東京では人員や設備、連泊上限などの独自基準を公表していますし、他の府県でも独自基準設定の動きが出ています。特養満杯、短期入所も希望通りにはならない状況では、利用が増えることが予想されます。利用者の安心安全のためにも独自基準の設定についてのお考えを伺います。	
	3. 緑寿園の建て替えについて	1. 社会福祉事業団との施設譲渡の協議において、緑寿園建て替えについてはどのような位置付けがなされているのか伺います。	

質 問 順 位	4	質 問 者	窪之内 美知代 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
		2. 先月実施した厚生常任委員会での社会福祉事業団視察時の質疑応答から、緑寿園の建て替えが早急に進む状況にはないとの感触を受けました。しかし、昭和50年開所の緑寿園建て替えは、施設面や利用者ニーズからも待ったなしの課題です。譲渡協議を進めるのと同様進行で、市の責任において緑寿園の建て替え作業を進めるべきと考えます。更に、市の建て替えと、事業団の建て替えとでは、補助金など、財源確保にどのような違いがあるのかも伺います。		
	4. 市民後見人について	1. 現在、認知症や知的障がいなどにより判断力が不十分な人に代わって、弁護士・司法書士などの専門職の方が成年後見人となって財産管理等の業務を行っています。しかし、これらの専門職の方だけで担いきれない状況があります。そこで、一般市民を養成して家庭裁判所に養成課程修了者を後見人として推薦するというのが市民後見人です。道内では小樽市と北後志5町村が協力してセンターを設置して養成に取り組みました。また、釧路市や南富良野町などでも取り組みが始まっています。養成とともに、支援、監督といった態勢づくりの課題もあります。導入に向け前向きに検討すべきと考えますが、見解を伺います。		

質 問 順 位	4	質 問 者	窪之内 美知代 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
2. 市民の健康維持	1. 肝臓がん検診について	1. 肝臓病の患者でつくる中空知コスモス肝友会と肝がん検診団が、本年3月に市に対して、肝臓がん検診受診者の費用負担の助成及び市民周知を求める要望を行い、私も会の一人として同席しました。ご存じのようにB型・C型肝炎感染は、汚染された血液や予防接種による感染など、多くが国の責任によるものです。感染すると肝がん発生の危険因子となることから、積極的に検査を受け適切な治療を行う必要があります。ところが、感染していても初期では症状がないことから、気が付いた時には肝硬変や肝がんになっている方も少なくありません。定期的な肝がん検診による早期発見が重要ですが、制度的な検診は実施されていないため、全額自己負担で受診しています。遠軽町やえりも町では助成制度が設けられました。本市においても、自己負担への助成制度の検討を求めるものですが、お考えを伺います。		
3. 男女共同参画	1. 男女共同参画計画について	1. 世界経済フォーラムレポートによると、2012年の世界男女平等ランキングで、日本は135か国中101位で前年より3位下がりました。世界の最低レベルだということです。本市では、昨年度、前田市長の決断により、平成25年度から10年間の「滝川市男女共同参画計画」が策定されました。また、部長職を始め、庁内での女性幹部職登用でも男女共同参画を実践で示していることについては評価いたします。質問は、「参画計画」に沿った今後の取り組みについてですが、「参画計画」は、目標・基本理念と施策として大きく四点を挙げています。そこで、第一に、その中でも当面は何を重点に取り組むのか、第二に、総合的な推進体制の整備とありますが、整備にむけたスケジュール及び庁内組織と全体の組織構成についての考えを伺います。		